

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
1-④	誰もが気軽にスポーツを楽しむ環境を充実する	企画政策部、都市整備部、社会教育部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画策定時	実績値				目標値 31年度
			27年度	28年度	29年度	30年度	
各種スポーツ大会等参加者数（年間）	人	7,588	6,944	7,408	7,476		8,300
スポーツ施設利用者数（年間）	人	2,009,928	2,007,905	1,955,144	1,919,436		2,327,850
関連事業							
○サッカー文化の振興によるまちづくり事業○市民総合体育大会開催事業○サッカーを中心としたスポーツ振興事業○オリンピック事前キャンプ誘致等推進事業○総合公園管理運営事業○平塚競技場バックスタンド増築事業							
決算額							
	28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費（千円）	11,071	18,006※					
執行率（％）	91.45	86.29※					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<ul style="list-style-type: none"> ●総合公園内各施設を良好に維持・管理するため、平塚競技場バックスタンド増設、照明塔改修のほか、平塚総合体育館A会議室空調改修を行いました。また、リトアニア共和国事前キャンプに向け、関係課と各施設に必要な改修等の検討を行いました。 ●市民総合体育大会において一部の公開種目の参加資格を中学生以下に拡大した他、障がいの有無や年齢にかかわらず、気軽に楽しめるニュースポーツ体験会とボッチャ競技大会を初めて開催し、誰もが気軽にスポーツを楽しむ機会を充実しました。 ●湘南ベルマーレとの連携により、小学校等への巡回授業や親子サッカー教室等を実施し、サッカー文化の振興と子どもたちのスポーツへの関心の向上を図りました。 ●事前キャンプの受入れや様々な交流事業を推進するための市民主体の組織として、「ひらつかリトアニア交流推進実行委員会」を設立し、リトアニア共和国ナショナルチームのテストキャンプ受入れをはじめとする様々な交流事業を実施しました。 							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>●リトアニア共和国事前キャンプに向けては、競技種目に合わせ、選手が快適に使用でき、市民利用の環境の向上につなげる必要があります。</p> <p>●大会に参加した市民が一層楽しめる大会を開催する必要があります。</p> <p>●湘南ベルマーレが本市をホームタウンの拠点として活動している優位性をより深く理解してもらい、事業や活動の効果が高まるように周知していく必要があります。</p> <p>●庁内関係課やひらつかりトアニア交流推進実行委員会と連携して、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるリトアニア共和国の事前キャンプ受入体制の整備や、リトアニア共和国との交流を推進する必要があります。</p>	<p>●視察団やスポーツ用品メーカー等からの聞き取りにより、過不足のない需要に応じた施設整備に取り組みます。</p> <p>●スポーツを楽しんでもらうため、試合数が多くなるような大会運営や会場の空きスペースでのパネル展示やニュースポーツの紹介をします。</p> <p>●サッカー文化の振興を図るため、ひらつかスポーツナビなどを通じて、湘南ベルマーレのスポーツ振興事業等を紹介するなど周知し、市民の理解を深めます。</p> <p>●ひらつかりトアニア交流推進基本方針に基づき、庁内関係課やひらつかりトアニア交流推進実行委員会と連携して、事前キャンプの受入に向けた準備を進めるとともに、スポーツなど様々な分野において交流事業に取り組みます。</p>

※「総合公園管理運営事業」「平塚競技場バックスタンド増築事業」は、実施計画事業ではないため、事業費及び執行率に含まれていません。